



寄付研究講座一覧

2025年10月1日現在

講座名称	寄付者	設置期間	設置目的・概要	講座主任	教員
パーキンソン病寄付研究講座	篤志家(匿名)	2022/10/1～2027/3/31 (4.5年)	昨今、パーキンソン病患者数の急増(パーキンソン病パンデミック)を認めており、当該疾患の克服および健康寿命の延伸は喫緊の課題である。本講座では、未だ根治的治療法の存在しないパーキンソン病に対する革新的治療法を確立することを目標に、基礎臨床一体型研究を展開するとともに、研究活動を通じた人材育成に努め、社会に貢献することを目的とする。	中原 仁	
森正文肺癌制圧寄付研究講座	森 正文	2023/4/1～2026/3/31 (3年)	本学医学部の「基礎臨床一体型拠点」である強みを発揮し、臨床(病院)から得られる検体からの肺癌オルガノイド樹立、樹立した肺癌オルガノイドに対する詳細な基礎的アプローチを用いた解析を行い、肺癌生物理解を飛躍的に深めるとともに、その中から肺癌制圧に向けた治療戦略の開発につなげ、研究活動を通じた人材育成に努め、社会に貢献することを目的とする。	福永 興啓	
運動器機能再建・再生学寄付研究講座	ジンマー・バイオメット合同会社 メトロニックソファモアダネック株式会社 京セラ株式会社	2023/4/1～2026/3/31 (3年)	運動器機能再建・再生に関する卒前・卒後教育を行うとともに、運動器障害に対する基礎医学的・臨床医学的研究を創出できる人材を輩出し、研究結果から得られた新たな医療を通じて、社会に貢献することを目的とする。	中村 雅也	特任教授 二木康夫 特任教授 金治有彦 特任教授 須田康文 特任准教授 池澤裕子 特任助教 齊藤誠人 特任助教 道振康平
ブリヂストン臓器再生医学寄付研究講座	株式会社ブリヂストン	2023/10/1～2026/9/30 (3年)	難治性心疾患、重症心不全は予後不良であり新しい治療開発が求められている。難治性心疾患、重症心不全等の病態解明、および近年目覚ましい進歩を遂げている先進カテーテル治療、遺伝子治療、再生医療の開発に関する研究を行い、心臓病治療のさらなる発展に貢献するとともに、次世代を担う若手人材育成を行うことを目的とする。	家田 真樹	特任講師 小平真幸
サントリー心臓再生医学寄付研究講座	サントリーホールディングス株式会社	2024/4/1～2029/3/31 (5年)	心不全は病態解明も不十分な疾患であり、近年増加傾向で大きな社会問題となっている。新しい治療法開発には循環器疾患の病態をよく理解し、さらに遺伝子細胞治療、心臓再生医療、低侵襲性カテーテル治療などに関する先端的研究を行う必要がある。本講座設置により先進的心臓再生治療の開発や心疾患の病態解明を行うとともに、若手教育や次世代の循環器医育成を行うことを目的とする。	家田 真樹	特任講師 橋本寿之
在宅医療テクノロジー推進寄付研究講座Ⅱ	株式会社フィリップス・ジャパン	2024/4/1～2027/3/31 (3年)	効率的なモニタリングシステムの構築、新規診断・治療機器の開発など在宅医療テクノロジーを世の中に推進・啓発していくとともにこれに関わる医師・看護師の育成を目的とし運営をおこなう。	福永 興啓	
先進炎症性腸疾患治療開発教育学寄付研究講座Ⅱ	杏林製薬株式会社 ゼリア新薬工業株式会社 株式会社JIMRO ミヤリサン製薬株式会社 持田製薬株式会社	2024/4/1～2027/3/31 (3年)	腸管における自律神経の機能に着目し、炎症性腸疾患の病態解明や新規治療法のシーズ開発から臨床開発に進展する研究を推進し、また、それらの研究活動を通じた人材の育成を目的とする。	金井 隆典	特任准教授 寺谷俊昭



慶應義塾大学医学部・医学研究科 寄附講座／寄付研究講座／共同研究講座

不整脈先進治療学寄付研究講座Ⅲ	日本メトロニック株式会社 日本ライフライン株式会社 ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社 アボットメディカルジャパン合同会社 バイオトロニックジャパン株式会社	2024/4/1～2027/3/31 (3年)	臨床心臓電気生理学の研究による不整脈の機序解明、カテーテルアブレーションや3次元マッピングシステムを用いた新たな治療方法、および植込み型心臓電気デバイスを用いた新しい不整脈治療法や心不全の治療法の開発、発展に寄与するとともに、これらの研究活動を通じ、社会に貢献し得る人材を育成することを目的とする。	家田 真樹	特任教授 高月誠司 特任講師 西山崇比古
腸脳相関治療開発寄付研究講座	ミヤリサン製薬株式会社	2024/10/1～2027/3/31 (2.5年)	腸内細菌、腸管免疫および神経系をキーワードに、新たな炎症性腸疾患研究の基盤構築および経験豊かなベンチサイドからの気付きを最大限に活かした高度に実用的な臨床の実現、臨床研究への応用を目指し、さらに、基礎研究を熟知した高度な専門性を有する医師・研究者を創出することを目的とする。	金井 隆典	
慶應義塾大学 地域小児医療人材育成・調査寄付研究講座(埼玉県)Ⅴ	埼玉県、朝霞市、志木市、和光市、新座市 (寄附講座運営支援事業補助金)	2025/4/1～2026/3/31 (1年)	埼玉県、埼玉県朝霞地区第二次救急医療圏に属する4市(朝霞市・志木市・和光市・新座市)および独立行政法人国立病院機構埼玉病院の要請に基づき、同医療圏における小児医療体制(主として周産期医療)の充実を図るため、慶應義塾大学において人材の育成と確保、医療体制の整備に関して調査研究を行うことを目的とする。	鳴海 覚志	特任助教 可児圭丞 特任助教 小岩征史 特任助教 堀部将 特任助教 矢野万紀子
呼吸器疾患と食に関する寄付研究講座	大正製薬株式会社 栗田アセットマネジメント株式会社	2025/4/1～2028/3/31 (3年)	呼吸器疾患と食生活の重要性を創出するトランスレーショナルリサーチの基盤構築を醸成し、世の中に推進・啓発していくとともに、これに関わる医師・看護師の育成を目的とする。	福永興杏	
先進運動器疾患治療学寄付研究講座Ⅱ	ニューベイスブジャパン株式会社 セルソース株式会社 メダクタジャパン株式会社 ビー・ブラウンエースクラブ株式会社	2025/4/1～2028/3/31 (3年)	運動器疾患に対する先進治療に関する卒前・卒業教育を行うとともに、新しい薬剤、手術法や手術関連機器の開発研究を行う講座を開設することにより、最先端の運動器疾患治療学の確立を目的とする。	中村 雅也	特任准教授 辻収彦 特任助教 山口さやか 研究員 山西由佳利
全身性免疫難病克服寄付研究講座Ⅱ	旭化成ファーマ株式会社	2025/4/1～2028/3/31 (3年)	全身性免疫難病における免疫制御薬発展のため基礎・臨床トランスレーショナル研究およびチーム治療の啓発と教育を推進し、全身性免疫難病患者診療および研究の質向上とそれらを通じた社会還元を目的とする。	金子 祐子	研究員 近藤晴美
久光製薬運動器生体工学寄付研究講座Ⅴ	久光製薬株式会社	2025/4/1～2026/3/31 (1年)	運動器に対する生体工学的基礎・臨床観察研究を通じて、運動器疾患に対する新たな病態の解明、診断法・治療法の確立、および研究活動を通じた人材育成を行うことを目的とする。	中村 雅也	特任教授 名倉武雄



共同研究講座一覧

2025年10月1日現在

講座名称	共同研究者	設置期間	設置目的・概要	講座主任	教員
ヒルズ未来予防医療・ウェルネス共同研究講座	森ビル株式会社	2021/4/1～2026/3/31 (5年)	「未来予防医療」「ウェルネス・ウェルビーイングにつながる働き方」「ダイバーシティ・ヘルス」をキーワードに、慶應義塾大学病院予防医療センターと協働し、(1)個別化予防医療を実現する最先端の健康診断・健康支援に関する研究、(2)ウェルネス・ウェルビーイングを実現する働き方、経営ならびにオフィス・街区の環境に関する研究、(3)これらを実現するデジタルプラットフォームとデータ技術に関する研究を、統合的に推進する。	医学部長 武林 亨	教授 岸本泰士郎 特任教授 柏木和弘 特任講師 堀込俊郎 特任助教 木下翔太郎 特任助教 高宮彰敏 研究員 中井文哉 研究員 藤原順子 研究員 稲田有美 研究員 杉田洋平 研究員 友田有希 研究員 蓮香正英 研究員 日座久美子 研究員 山内美紀子 共同研究員 千葉 俊周
UNIVASスポーツ外傷・障害予防共同研究講座	一般社団法人大学スポーツ協会	2022/4/1～2026/3/31 (4年)	一般社団法人大学スポーツ協会(UNIVAS)では、大学スポーツにおける安全安心な環境の向上に資するための事業を行っている。その安全安心事業のうち、大学スポーツの現場でのスポーツ外傷・障害の実態とその要因を明らかにし、予防策を開発することを目的とする。	佐藤 和毅	研究員 林綾子
全人的漢方診断共同研究講座Ⅱ	株式会社ツムラ	2024/4/1～2027/3/31 (3年)	漢方薬の証診断に基づいた治療手段を最新のデータ収集技術や解析手法などと組み合わせて客観的な診断ができる仕組みを確立し、漢方薬をより精密化された個別化医療に応用することを目的とする。	金子 祐子	特任講師 吉野鉄大 特任助教 前田絢子 特任助教 仁井田りち 研究員 田草川涼子
先端医療開発教育基盤共同研究講座Ⅱ	シスメックス株式会社 株式会社メディカロイド	2025/4/1～2028/3/31 (3年)	国産内視鏡下手術用ロボットhinotori TM を中心とした先進性および安全性を兼ね備えた手術プラットフォームに関する研究開発するとともに、その教育基盤を形成することを目的とする。	志水 秀行	特任助教 樹田司 研究員 牛江公位 研究員 塩田美津子 研究員 杉本みちる 研究員 青木菜摘
未病対策食共同研究講座Ⅱ	日清食品株式会社	2025/10/1～2028/3/31 (2.5年)	現代人に多く見られる腸の不調に対し、腸内環境と栄養の相互作用を分子栄養学の観点から科学的に解明し、改善に資する最適化栄養食の開発を目指す。	金井 隆典	研究員 西希